



Voice

介護は一方通行の関係じゃない 元気をもらえる場所でもあります



きつかけは？

子育てのこともあり、ワークライフバランスを重視して「非常勤でシフト制、土日祝は休み」という条件を探しました。そこで条件に当てはまったのが介護の仕事です。介護業界は重労働などのイメージがあり悩みましたが、「何かの縁かな、とりあえず行動してみよう！」という気持ちでチャレンジしてみました。



適切なサービスのあり方は多種多様

バイタルチェックや準備体操、入浴準備・入浴介助、レクリエーションなどのほか、送迎車の運転も担当しています。仕事をしていると、ご利用者の笑顔に触れたり、気にかけて声をかけていただいたり、実は私の方が元気をもらえることも多いんですよ。体や病気に関する知識も自然と増えて健康に対する意識も高まりましたし、もし自分の家族に対して介護が必要になったときにも、きっと過剰に身構えることなく「普通のこと」として捉えられそうな気がします。

介護度や生活状況が違うので、適切なサービスのあり方も同じではありません。血圧測定やお茶を渡す業

●デイスサービス・介護職員

ある1日

- ▼ 8:30 出勤/当日利用者の確認/準備
- ▼ 8:50 利用者迎え入れ/バイタル測定/水分提供/運動指導/機能訓練補助
- ▼ 10:30 入浴介助
- ▼ 11:45 ~ 12:45 休憩時間
- ▼ 13:30 運動指導
- ▼ 14:30 レクリエーション実施
- ▼ 16:00 おやつ準備・提供
- ▼ 17:00 利用者送り出し/掃除
- ▼ 17:30 退勤



管理者より

デイスサービスは1人の専門職だけでは成立しません。ここでも20代から60代の複数の専門職がチームとなって仕事をしています。彼女は誰にでも自然体で接し、周囲にはいつも笑顔があふれています。自分以外の誰かのことを考えた行動が「サービスの質の向上」や「誇れる仕事」につながる、それを体現する存在です。若い職員に対しては明るい母親的な存在で、頼れる相談相手でもあるんですよ。

週末の休日は、予定が合えば家族と一緒に次女の部活の試合を応援したり、地元のラグビーやサッカーチームの観戦に出かけたり。家族の記念日のお祝いは、ぜったいに欠かしません！

My Private Time



務などを積極的にに行い、名前を呼ぶ回数を多くするなど、工夫して一人一人のことを覚えていきました。送迎については、道を覚えるのに大苦戦。日が暮れて目印が分からなくなってしまい、会話でごまかしながら必死にルートを検索したこともあります（笑）。ご利用者に温かく見守っていただきながら、「よく覚えたね。頑張ったね！」とうれしいお言葉をいただけるようになりました。

ずっと笑顔が絶えない職場です

最近のご利用者の状況や課題を共有し、適切な支援を話し合う担当者会議に参加しています。ご本人とご

家族の想いを把握した上で、現場での状況をケアマネジャーと情報共有し、多職種のチームで質の高いサービスの提供につなげたいと思います。私の強みは人見知りをしない性格ですから、今後もさまざまな方と関わっていききたいですね。

ご利用者の人数が多い日には、職員が自分の持ち場だけでなく、お互いにカバーします。無事に一日を終えられると大きな達成感がありますね。何より明るい職員が多く、ご利用者との会話中も笑顔が絶えません。介護業界の職場の雰囲気や形態はさまざまなので、自分に合った環境も見つかりやすいんじゃないでしょうか。実際に携わってみると「身近に感じる」お仕事だと思いますよ。